

委 30-3-1

宇宙開発の現状報告

(平成 18 年 8 月 22 日～平成 18 年 8 月 29 日)

平成 18 年 8 月 30 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発委員会の動き

8 月 25 日 (金)

- 第 4 回計画部会

【井口委員長、青江委員、松尾委員、森尾委員、野本委員】

8 月 22 日 (火)

- 第 5 回計画部会

【井口委員長、青江委員、松尾委員、森尾委員】

宇宙開発に関する国内の動向

8 月 28 日 (月)

- 赤外線天文衛星『あかり』がとらえた星の誕生と死についてプレスリリース【独立行政法人宇宙航空研究開発機構】
赤外線天文衛星「あかり」(ASTRO-F)は、赤外線を放射する天体を全天にわたって観測し、宇宙の赤外線地図を作成するミッションを順調に継続しており、星の誕生と死に関する新たな画像の取得に成功した。

宇宙開発に関する海外の動向

8 月 24 日 (木)

- 中国とロシア、火星探査での協力を発表 【露、中】

8 月 22 日 (火) 中国空間技術研究院 (CAST) は、中国とロシアが共同で火星探査ミッションを実施すると発表した。ロシアが 2009 年に打上げを計画している火星探査プログラム「Fobos-Grunt」の無人探査機に、中国の観測機器を搭載し、火星及びその衛星を観測するとしている。

- 中国、宇宙開発五大重点項目を発表 【中】

8 月 22 日 (火) 中国国家発展改革委員会 (NDRC) 2006 年から 2011 年の 5 ケ年間に実施する中国宇宙開発の重点項目として、有人宇宙飛行プロジェクト、月探査プロジェクト、高分解能地球観測システムの構築、次世代航行測位システムの構築、新型ロケット開発を実施すると発表した。有人宇宙飛行プロジェクトについては、独自の宇宙ステーションの建設及び宇宙飛行士の船外活動等を行うとしている。

8 月 25 日 (金)

- IAU、惑星等の定義を確定。太陽系の惑星は 8 個に 【チェコ】

8 月 24 日 (木) 国際天文学連合 (IAU) は、第 26 回総会において惑星の定義を確定し、太陽系の惑星については、水星、金星、地球、火星、木星、土星、天王星、海王星の 8 個とし、冥王星については、新たな区分として新設した「dwarf planet」(仮約：矮惑星)に属することを決定した。

8 月 28 日 (月)

- 榎本氏のバックアップ・クルー、アンサリ氏の ISS 搭乗が決定 【露・米】

8月25日(金) 米スペース・アドベンチャーズ社は、本年9月に予定されていた日本人宇宙旅行者の榎本大輔氏による国際宇宙ステーション (ISS) への滞在が、医学上の理由により中止となったことを受け、当初より榎本氏のバックアップ・クルーであり、アンサリ×プライズのタイトルスポンサーとして著名なアナーシャ・アンサリ氏の搭乗が決定したと発表した。アンサリ氏の宇宙飛行が実現すれば、世界初の女性民間宇宙旅行者となる。なお、榎本氏の今後の搭乗については未定となっている。

8月27日(日) 28日(月) 29日(火)

- NASA、スペースシャトル「アトランティス号」の打上げを延期 【米】

8月26日(土)(現地時間、以下同じ) は、射点への落雷のため、NASAは27日(日)に予定されていた打上げを24時間延期し、翌27日(日)には、落雷による影響調査に時間を要したとして、打上げを48時間延期。また、翌28日(月)には、熱帯低気圧「アーネスト」の接近のため、再度打上げを延期した。

NASAは、その後、「アトランティス号」を射点からシャトル組立棟(VAB)へ退避させるため、VABへ移動していたが、「アーネスト」の進路が変わり、勢力が弱まったとして、再び「アトランティス号」を射点へ戻している。

現在ところ、打上げ予定日は未定。

第29回宇宙開発委員会 議事要旨(案)

(議事次第と重複する情報のため記載を省略)

5 出席者

宇宙開発委員会委員長

井口雅一

宇宙開発委員会委員

松尾弘毅

〃

青江 茂

〃

森尾 稔

〃

野本陽代

文部科学省研究開発局長

森口泰孝

〃 研究開発局参事官(宇宙航空政策担当)

池原充洋

〃 宇宙開発利用課長

奈良人司

6 議 事

- (1) 宇宙開発に関する重要な研究開発の評価結果について
青江部会長より準天頂高精度測位実験の「評価その1」について報告があった。

井口委員長より、各省の責任範囲が明記されており、JAXAの実施体制も明確になっており、以前議論になった

重要な課題が解消されているとの発言があった後、原案どおり了承された。

(資料委 29-1 参照)

(2) 大型展開アンテナ小型・部分モデル 2 (LDREX - 2) の打上げについて

大型展開アンテナ小型・部分モデル 2 (LDREX - 2) の打上げについて独立行政法人宇宙航空研究開発機構 (堀川理事) より報告があった。

井口委員長より、謙虚な姿勢をもって LDREX - 2 の打上げを行い、その成果を評価して ETS- に反映させていくようにとの発言があった。

青江委員より、大型アンテナ開発の意義をもう一度整理する必要があるのではないかと発言があった。

(資料委 29-2 参照)

(3) スペースシャトルの状況について

スペースシャトルの外部燃料タンク断熱材剥離に対する NASA の対策と飛行結果について独立行政法人宇宙航空研究開発機構 (武内室長) より、国際宇宙ステーション組立再開に向けたスペースシャトル STS-115 ミッションの実施について独立行政法人宇宙航空研究開発機構 (山浦室長) よりそれぞれ報告があった。

(資料委 29-3-1 参照)

(資料委 29-3-2 参照)

(4) 月周回衛星 (SELENE) に係るシンポジウムの開催結果について

月周回衛星 (SELENE) に係るシンポジウムの開催結果について独立行政法人宇宙航空研究開発機構 (井上理事及び滝沢プロジェクトマネージャ) より報告があった。

(資料委 2-4 参照)

(5) その他

宇宙開発の現状報告

事務局より説明があった。

(資料委 29-5-1 参照)

議事要旨

第 28 回宇宙開発委員会議事要旨 (案) について、原案どおり了承した。

(資料委 29-5-2 参照)